

ブックレット 構想案

想定されるコンテンツ

o LORC 協働型研修 ~ 「はじめてのお出会い」編

— 開放性・連携性ある研修とその企画

▷ 概要

▷ 目標設定 <この研修でなにかできるか?>

・ 実定成果議を脱しよ?

・ 研修部局も ~~育つ~~ 研修

・ セクターをのりこえて「協働」する人材: 「お出会い」

▷ 企画のゴツとその流れ

企画 STEP1 運営会議を組織しよう

企画 STEP2 対象, 目的, 手法の設定と確認

企画 STEP3. メンバーとスケジュールの調整

企画 STEP4. ファシリテーターとの調整

企画 STEP5 → 実施! 実施のゴツ参照.

▷ 実施のゴツとその流れ

実施 STEP0. 会場と備品の手配

実施 STEP1. ファシリテーターと事前ミーティング

実施 STEP2 会場を設営しよう

実施 STEP3. 開場: 初日開始

実施 STEP4. 講義型研修

実施 STEP5. WS開始 → 本格的な議論へ

▷ STEP4 エックシート

・ 企画編 ・ 実施編

▷ Q&A

▷ コラム ・ ファシリテーターとファシリテーター能力

・ 「地域公共人材」

・ LORC

o 地域 ↔ 大学連携

・ LORC 研修

・ フェイ WG

o 人材採用

・ フェイ WG

※ XFD とはな
[] 頁数?

[]

[]

[]

[] 見込 頁数

人数と未定

[] 対比 いる?

[]

コラム?

不要?





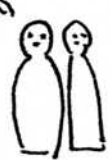
「協働の現場」
他セクタ-の主体と
いっしょに もりもり
活躍する Superな人材



研修のあり方に
悩む担当者



自分の組織にふりまわされたり
他セクタ-にもちよと迷惑かけたり
することもあるけど、
経験をつみ重ねている Goodな人材



「協働」や「参加」...
重要性はわかっているけど
またまた 若菜ワーク出来ない人材



そんなと
ぜんぜん 考えたことない!
ルーチンワークにキ一杯で
なことに 問題意識を感じている人材

このあたりに 効く

初めての「協働」研修ハンドブック

検討する内容

- ・コンテンツの構成 → 協働研修のみ？ その他の？ (内容選択 農淡)
- ・具体的な記述内容 ステップ解説 / Q&A項目 / コラム / 分担
- ・デザインなど

運営ステップ解説
 注意点

STEP
 STEP
 0

やること
 すること

会場と備品の手配

- o
- o
- o

1

ファシリテーターと事前ミーティング

アイスブレイク やすい
 会場設営

2

会場を設営しよう

- o

3

開場

4

講義

5

WS開始!

- o アイスブレイク
- o 本格的な議論へ

"自分で成果を認める"
 アーゲットは毎月実施を

6

初日終了!

- o アーゲット
- o ファシリテーターミーティング

研修企画側も参加。ただし
 主体はファシリテーター

↑
 研修企画側の参加と
 研修進行

チェックシート 企画編 <ステップ解説参照>

STEP

① 連学会議
の組織

- 市内他部局に協力依頼
- 市民への依頼
- 初期目的をまとめ、説明
- ファシリテーターの依頼

未
たい
し
色
10
分
間!

XXXXXXXXXX
XXXXXXXXXX

2. 対象、目的、手法

- 連学会議の開催
- 自由なギロンの時間
- プリンシプルを提示した目標確認
- 連携を意識した内容、手法決定
- 座学講師と内容の検討

3. ステジュールとスケジュール

- STEP3の作業につなぐための企画案決定
- 市長の身柄確保!
- 講師選定と目的、趣旨説明
- 市民への依頼
- ファシリテーター確保
- 参加者の選定・議論のサイズ!

前準備、資料作成

4. ファシリテーターの調整

- 目的は伝えられたか
- 当日の連学を同じ合い、お互いに進行の仕方を確認

5. 実施 → チェックシート「実施編」も参照

6. 事後評価

FAQ

回答

- 準備期間はどのくらいみたらいい？
- 予算はどのくらいかかる？
- 成果がはかりにくいのでは？
- ファシリテーターは行政職員でいいのでは？
- 地域系市民とNPO系市民はともに必要なの？
- 市民に謝礼は払うべき？

6